



平成 27 年 2 月 6 日

各位

会 社 名 アンジェス MG株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経営企画部長 米尾 哲治
電 話 番 号 03-5730-2641

アンジェス MG グループ 「2025 年ビジョン」の策定に関するお知らせ

当社は、平成 11 年の創業から昨年末で丸 15 年を迎えました。今年は当社にとり、将来の成長に不可欠の開発プロジェクトが最終段階に入る節目の年であり、研究開発ステージから商業化に向けた次のステージに移行する重要な局面を迎えています。こうした状況の中で、10 年後の当社のあるべき姿を明確化・共有し、グループ一丸となって事業を進める目的で、長期ビジョン「2025 年ビジョン」を策定いたしました。

1. 背景

当社の将来の成長のために重要な開発プロジェクトが最終段階に入っています。具体的には、大きな収益源となる最重要プロジェクトである HGF 遺伝子治療薬（適応症：重症虚血肢）のグローバル第Ⅲ相臨床試験が平成 26 年 10 月に開始されました。また、国内市場を対象とした成長ドライバーである HGF 遺伝子治療薬（適応症：重症虚血肢）については、条件及び期限付き承認制度を活用し、早ければ平成 27 年中に承認申請を行う計画です。さらに NF- κ B デコイオリゴ軟膏剤（適応症：アトピー性皮膚炎）も平成 27 年上半期中の国内第Ⅲ相臨床試験の開始を予定しており、今後数年は当社の将来の成長および企業価値の向上において重要な時期となります。こうした状況に鑑み、10 年後の当社の目標として「2025 年ビジョン」を策定することといたしました。

2. 「2025 年ビジョン」

HGF 遺伝子治療薬や NF- κ B デコイオリゴなどの開発を進めることで遺伝子医薬の分野で世界に認知されるスペシャリストとなると同時に、これら遺伝子医薬の実用化によって新たな市場を創出し、売上高 500 億円以上の企業に成長する——当社は 10 年後のあるべき姿をこのように描いています。

- **遺伝子医薬のグローバルリーダー**

世界で認知される遺伝子治療・核酸医薬のスペシャリストとなる

- **新市場の創出**

治療法のない病気の新薬を実用化する

- **売上高 500 億円以上**

3. 黒字化目標の設定

「2025 年ビジョン」を実現するための第一段階として、まずは 2019 年を目処に黒字化することを目指します。HGF 遺伝子治療薬（重症虚血肢）グローバル開発の進展に伴うマイルストーン収入、および国内市場を対象とした HGF 遺伝子治療薬（重症虚血肢）および NF-κB デコイオリゴ（アトピー性皮膚炎）の販売等が黒字化に寄与する要因です。

4. 具体的な活動

① 開発計画

臨床開発ステージにある重点プロジェクトを推進して参ります（下表参照）。また、下表以外にも早期収益化が見込める新規プロジェクトや適応拡大なども計画的に検討して参ります。

（開発スケジュール、2015 年 2 月時点）

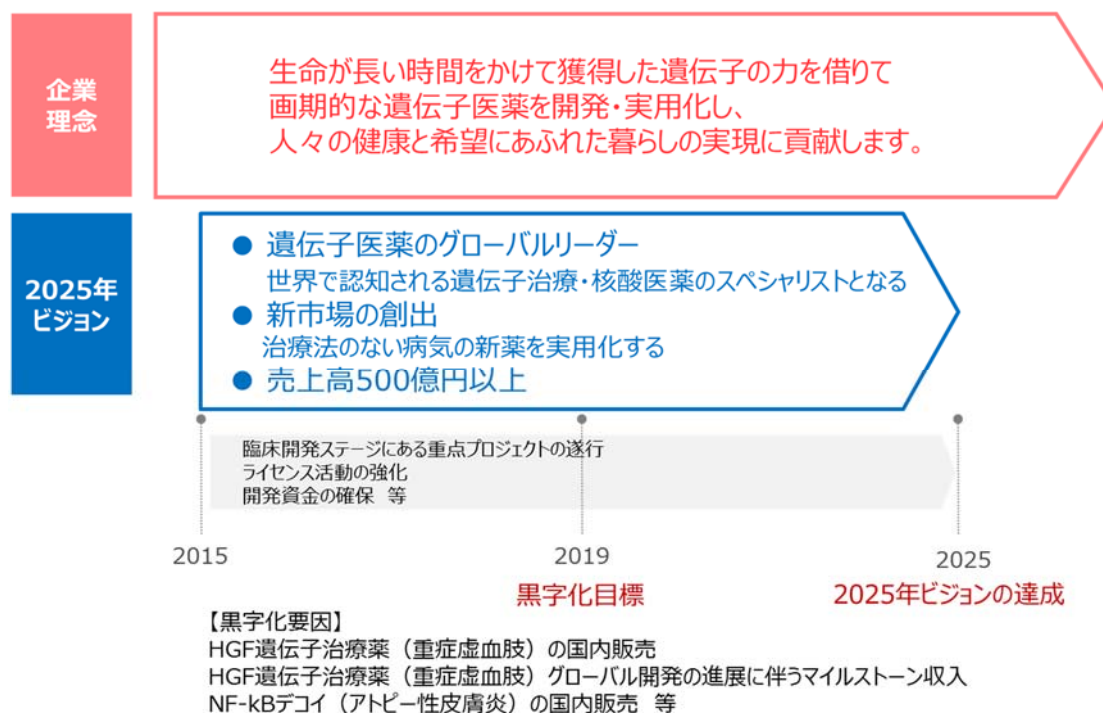
プロジェクト	適応症	地域	2015	2016	2017	2018	2019
HGF	重症虚血肢	日本		条件及び期限付承認申請	条件及び期限付承認、上市、本承認へ		
HGF	重症虚血肢	US EU 南米	グローバルP3			US：申請	US：承認 EU：申請
HGF	リンパ浮腫	日本	P1/2 (原発性)	次の開発ステージへ移行、二次性への展開、ライセンス契約 等			
NF-κB デコイオリゴ 軟膏剤	アトピー性 皮膚炎	日本	P3	申請	承認、上市		
NF-κB デコイオリゴ 薬剤塗布型パ ルーンカテーテル	血管再狭窄	日本	臨床試験	申請	承認、上市		
NF-κB デコイオリゴ	椎間板性 腰痛症	米国			P1/2	次の開発ステージへ 移行、 ライセンス契約 等	
CIN 治療ワクチン	子宮頸がん 前がん病変	日本	医師主導 臨床研究	次の開発ステージへ移行、 ライセンス契約 等			

② ライセンス活動

国内外の提携先確保に向けた活動を強化します。提携先への当社開発品の開発権、販売権の供与等による、開発費用の当社負担の軽減や、提携先からの収入（契約一時金、マイルストーン収入、上市後の販売に対する対価等）を確保し、収益基盤を確立させます。

（主なライセンス活動の対象）

- HGF（重症虚血肢、欧州・アジアの販売権）
- HGF（リンパ浮腫）
- NF-kB デコイオリゴ（皮膚疾患以外の適応症）
- CIN 治療ワクチン 等



【本資料に関する注記事項】

本資料に含まれる当社の将来の計画や数値目標に関する事項は、現時点において当社が入手している情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上